

広報みしま

蓮花寺大スギの名刺

1組(100枚)

100円であっせん

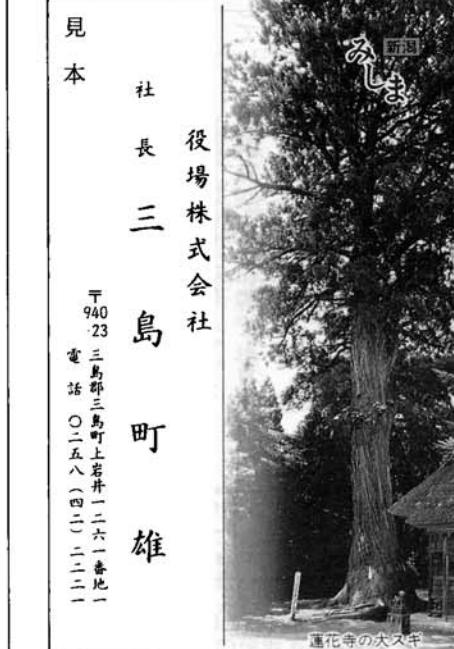
蓮花寺の大スギをレイア
ウトした観光カラー名刺(写
真)の台紙ができました。

希望者には一組(百枚)

百円であっせんしておりま
すので、産業課へお申し込
みください。

いだこうと作製したもの
です。
名前の刷り込みは、各人
からそれぞれの印刷屋さん

へ注文していただきます。
特に希望する場合には、
名前の刷り込みを含めて千
百円であっせんもします。



見本

株式会社役場

会長 三島町子



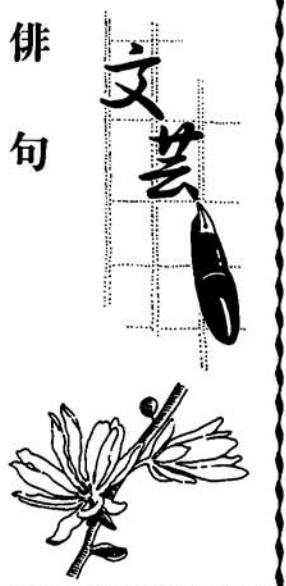
雪の村くるりとめぐる鳶の声
断崖の下は激流落の瀧
涙返る手に痛きまで衣洗ふ
眉に来て光となりぬ春の雪
ゆづくりと漁船の休む冬の浜

寒卵二つに裂けて惜しまるる
春うらら白衣の人に脈取られ
嫁不足子にも聞かせて囲い解く
冬日和孫の進学決りたり

涙子ゆるむ柱時計や日脚伸ぶ
土地売りの折り合ふ兆し残る雪
母の瞳に吾子がゐるなり寒卵

春の雪ひとひらごとの軽さかな
寒卵二つに裂けて惜しまるる
春うらら白衣の人に脈取られ
嫁不足子にも聞かせて囲い解く
冬日和孫の進学決りたり

俳句



今月の納税

- * 国民健康保険税 三月期分
- * 水道料金 二月分
- * ガス料金 二月分



日本では、「花」とい
えば桜が代表的ですが、中国
では、「花」というと、桃
かぼたんを指すそうです。
中国で美しい装いを「桃李
の装い」といったり、平和
な別天地を「桃源郷」とい
つたりするのもこうしたこ
とからです。

みしま

町のすがた

(3月1日現在)

人口 男	3,352人(+4)
人口 女	3,582人(+2)
人口 計	6,934人(+6)
世帯数	1,714 (±0)
()	は2月1日との比較

3

第264号

平成2年3月20日
発行 新潟県三島郡三島町役場
電話 (0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷

3

跡地へは勤労者共同福祉施設を建設

町では跡地の利用について、多目的施設の実現を県を通じて国に申請し、すでに内定を得ています。建設が予定されている施設は雇用促進事業団との協議で決定されますが、勤労者をはじめとした町民の皆さんのが趣味活動の場として気軽に利用できるものになると考えられます。総事業費は二億円を超えるものとみられますが、こ

れを事業団と分担しあって共有施設として利用することとなります。

町では、平成三年度の早い時期でのオープンを目指して積極的に作業を進めていますが、オープン後はこれから設立される公益法人が管理運営にあたることに



◀時刻、非常時を知らせてくれた屋上サイレン



▼住民課、企画調整課、税務課があった1階



▲多くの会合、文化講座が開かれた分館

▼経費の無駄をなくすため、「福祉センター」も一緒に取り壊されました。



惜しまれつつも

旧庁舎解体徹去

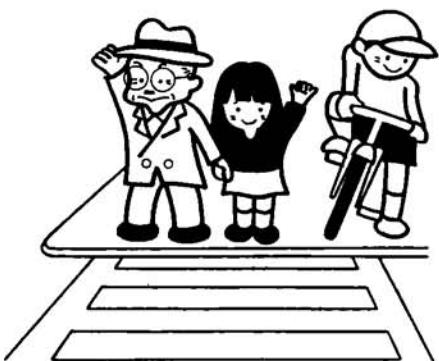


▲すっかり整理された2階を見て廻る

去年六月の新役場庁舎の完成に伴い、旧庁舎が取り壊されました。これに先立ち、二月二十六日には「旧庁舎とのお別れ会」が開かれ、集まつた議会関係者、区長さんは旧庁舎内を観察し、互いに想い出を語りました。旧役場庁舎は鉄筋コンクリート造りの建物がまだ、珍しかった大正十五年に建設。その後六十有余年の長期にわたり、町のシンボル、行政の中核としての役割を果たしてきました。

旧庁舎については「歴史のある建物でもあり、保存策を講じて他に活用すべきでは……。」という意見もありましたが、雨漏りなどの補修や維持管理にかなりの費用が見込まれること、また小木城川堤防のかさあげにより、道路よりも旧庁舎が低い状態のため、このままで活用していくことから、思いきって取り壊し、跡地約二千平方メートルを整地することとなりました。

1 子供と高齢者の歩行中、自転車乗用中の交通事故防止



春の全国交通安全運動

守ります ぼくもわたしも 交通ルール

平成2年4月6日(金)▶4月15日(日)

〈家庭では〉

- ◎交通安全について家族みんなで話し合う。
- ◎親が手本を示し、交通ルールとマナーを子供に教える。
- ◎家族の外出には、交通安全について、愛の一声をかける。

〈運転者は〉

- ◎子供や高齢者を見かけたら徐行するなど安全運転を励行する。
- ◎狭い道や裏通りでは、特に「とびだし」に気をつける。

2 若者運転者による無謀運転の防止

平成元年中の若者(16歳~24歳)が引き起こした交通事故による死傷者は、87人が死亡し、4,811人が重軽傷を負っています。

〈家庭では〉

- ◎若者運転者の事故防止について、家族みんなで話し合う。



〈運転者・同乗者は〉

- ◎いつでもどこでもシートベルト・ヘルメットを正しく着用することを習慣づける。
- ◎運転者は、同乗者に正しい着用を徹底させる。
- ◎小さな子供を同乗させるときは、年少者用補助乗車装置(チャイルドシート)を正しく装着する。
- 〈家庭では〉
- ◎シートベルト・ヘルメットの正しい着用方法、効果について家族ぐるみで話し合う。
- ◎車で出かける家族の着用を確認し、愛の一声をかけて送り出す。

心の窓

報謝の精神

曾根乘知

脇野町小

「人間は苦しみの連続である」と、私たちは説かれました。自分のことを振り返ってみると、十代は楽しみを追い求めることに夢中で、苦しみを感じることは少なかったようになります。

二十代になって、楽しさは創り出すものであります。でも、生きがいは十代よりもあります。

私は、いろいろな形があります。親子の愛、兄弟の愛、夫婦の愛、隣人の愛、そして師弟の愛などです。その中で最も大きな愛は、親が子に対する愛であるといふ方が多いと思います。この愛は絶対的なものであって、しかも子は、それほどこの愛を感じはしません。けれども、ひとたび親がいなくなれば、それこそみじめなものです。

夫婦の愛、隣人の愛、そして師弟の愛などです。親子に対する愛であるといふ方が多いと思います。この愛は絶対的なものであって、しかも子は、それほどこの愛を感じはしません。けれども、ひとたび親がいなくなれば、それこそみじめなものです。

その愛は、

しかし、私たちも皆が出家できるものではありません。この世間にいながら、迷いのない世界へ目を開いてゆかなければなりません。報謝の精神がなければ、私たちの生活には一刻の安らぎも、満足感も、浄化もないこ



小林審議会長に諮問書を読みあげる町長

その第二次総合計画も平成二年度をもって目標年度に達するため、引き続き三年度から十年間を計画期間とする第三次総合計画の策定作業を始めます。

また、計画案の諮問機関として町民代表二十三名で構成される「総合計画審議会」を設置し、計画内容について審議、検討していく

計画策定にあたっては、町民のみなさんが行政に対してもどのような期待、不满を持っているか調べるために、アンケート調査を実施いたします。

審議委員は次の方々です。

小林太左衛門(上岩井)

柳	原	中村	中野	田中十四夫	高埜	白倉	斎藤	近藤佐太郎	小林	片野	荒川
富美男	和夫	昭二	茂忠	敏夫	和夫	大島	小方	勇司	四郎	大滝良三郎	定男(下河根川)
秀樹	正行	宏	高	田中十四夫	高埜	稻垣	遠藤	和夫	和夫	良男	勝(脇野町)
(吉崎)	(大野)	(七日市)									
(吉崎)	(大野)	(七日市)									

※順不同・敬称略
委員
審議会副会長
小林一彌

町では昭和四十七年、町づくりを進める上で最優先計画として「三島町総合計画」を策定し、五十六年に自然と調和のとれた活力と魅力あふれた住みよ

い町をスローガンに第二次総合計画を策定、行政運営の指針としてまいりました。

その第二次総合計画も平成二年度をもって目標年度に達するため、引き続き三年度から十年間を計画期間とする第三次総合計画の策定作業を始めます。

また、計画案の諮問機関として町民代表二十三名で構成される「総合計画審議会」を設置し、計画内容について審議、検討していく

計画策定にあたっては、町民のみなさんが行政に対してもどのような期待、不满を持っているか調べるために、アンケート調査を実施いたします。

審議委員は次の方々です。

小林太左衛門(上岩井)



宿舎前で記念撮影

みべってころんで
親子のふれあい

三月三、四日、北魚沼郡守門村須原スキー場で、「町民親子スキーのつどい」が開催されました。時折、小雨が混じるあいにくの天候となりましたが、スキー教室に参加して、メキメキと上達した人あり、ゲレンデに自由自在のシュプールを描いている人ありで、参加者全員思いきってスキーを楽しみました。

21

世紀に向けた町づくりを計画 ——三島町総合計画審議会発足——

